

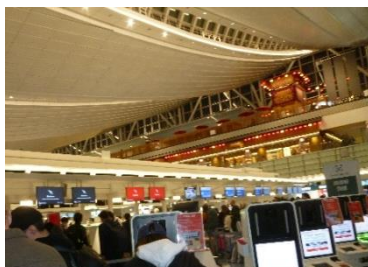
2026年3月10日(火) 11日(水)

海外研修1日目2日目

私にとって今回が初めての海外。まだ空港に着いても海外に来た実感はありませんでした。しかしシドニー空港に着いてすぐに始まった市内観光。いざバスに乗って外の景色を見ていると「本当に海外に来たんだ」と実感し、眠気もいつしか飛んでいきました。(板垣)



出発式



羽田空港で荷物預け入れ



手荷物検査に向かいます。22時発



機内食は23時ごろと
4時(オーストラリア6時)



シドニーには9時55分
日本時間で7時55分到着



ハーバーブリッジの後ろにオペラハウスが見えます。



フィッシュアンドチップスを食べました



ダーリングハーバー



ホストファミリーと対面は、とても緊張していましたが、笑顔で迎えてくれて安心しました。不安もありましたが、ホストファミリーの方々がゆっくり優しく話しかけてくれたおかげで少しずつ緊張もほぐれ、これから始まる生活への不安よりも楽しい気持ちが大きくなりました。(山村)



クロナラの先生からバディを紹介されます。この生徒は2年生で、1年のときに受け入れをしたバディとの再会です。1年生の時に受け入れをして2年でクロナラに行くことがおすすめ！



初めてバディと会うのは少し緊張します。感激の対面！



クロナラ高校の中庭。ここで朝礼をします。

キャンティーンで
昼食を買います

クロナラメインストリート



2026年3月12日 (木)

海外研修3日目

歓迎式ではまず初めに国家を歌ってくれた。全員で歌う日本とは異なり、代表者の生徒1人が心を込めて歌ってくれた。最後に京ヶ島先生より名前を呼ばれ、クロナラの生徒と対面した。皆ニコニコと私たちを見ていて、歓迎の意を強く感じた。これからクロナラ高校で学校生活が始まるんだと強く意識した瞬間だった。胸を踊らせながら体育館を後にした。(藤田)

歓迎式 バンドの演奏で国歌を歌ってくれました。



学校から歩いて10分のところに海があります



朝、海で泳いだり、サーフィンをしています。



対岸のバンディーナからはフェリーで通学します

2026年3月13日 (金)

海外研修4日目

クロナラの授業で科学の実験の授業を受けました。日本とは全く異なり、見たことのない大きな実験が多く、とても驚きました実験を通して英語でコミュニケーションを取り、一緒に活動することでクロナラの生徒と仲良くなることもできました。日本では体験できない貴重な思い出になりました。(前島)



バンデグラフ

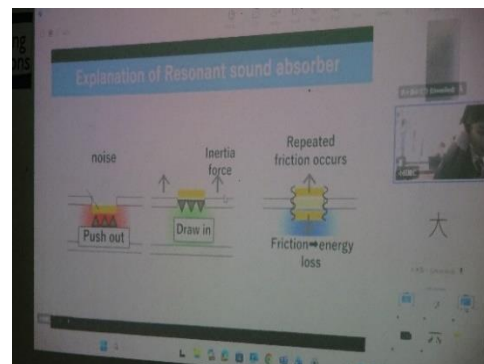
人の体や地面は電気を通しやすいため、そのままバンデグラフに触っても、電気は体を通してすぐに地面に流れてしまう。絶縁体で体を地面から切り離すことで、体は電気を溜め込む「蓄電池」のようになる。



水素は、鉄や亜鉛に、うすい塩酸や硫酸を加えると発生する。気体の水素に、火をつけたマッチ棒を近づけていくと、ぽんと音がして、水ができる。



炎色反応は、金属イオンや金属化合物を炎で加熱すると、余分なエネルギーを光として放出することで起こる。



蕪崎高校の発表

オーストラリアのエコシステムや音響の実験で、気温の影響があるかという意見交換がありました。

2026年3月14日(土) 15日(日)

海外研修5日目6日目

土曜日は電車とフェリーでタロンガ動物園に行きました。フェリーからオペラハウスなどがよく見えて綺麗でした。コアラやカンガルーなどかわいいオーストラリアの動物を近くで見れて嬉しかったです。日曜日はバディと大きなショッピングモールに行きました。たくさんオーストラリアのものをお土産として買いました。日本ではあまり見ないお店があって新鮮でした。(饗場)



ルナパーク
(遊園地)

クイーンヴィクトリアビルディングとタウンホール
路面電車が走ってきます



生徒とサザーランドの駅で



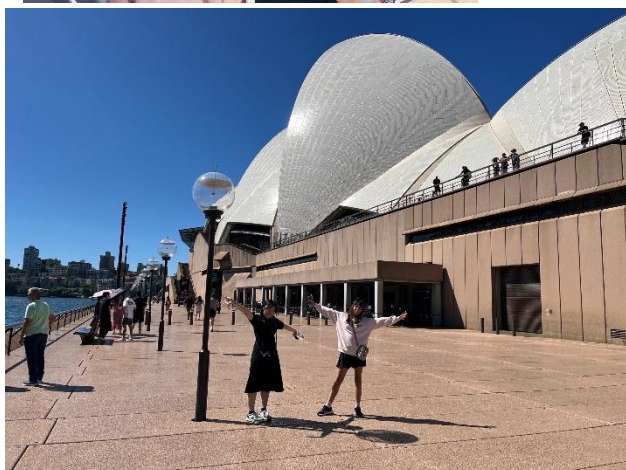
2024年3月15日 (金)

海外研修 6 日目

五日目の朝は Ashton の弟のサッカーの試合を観戦し、懸命に走る姿に自分ももっと頑張ろうと思った。夜は家族と女子アジアカップ日本対フィリピン戦を見て盛り上がり、夕食にはスパイシーな Laksa を食べた。異国で過ごしたこの一日は、疲れとともに心地よい満足感と、また明日も頑張ろうという前向きな気持ちを残して終わった。(相川)



ダーリングハーバーの水族館



2026年3月16日(月)

海外研修7日目

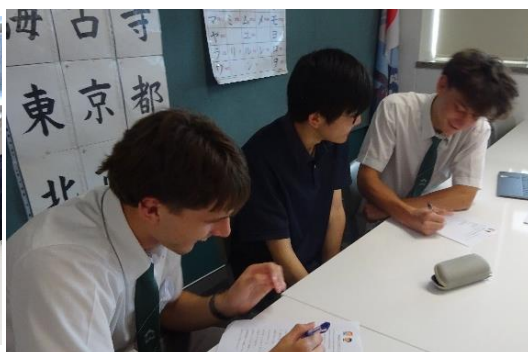
調理実習でクッキー作りをしました。最初は英語でうまく話せるか不安でとても緊張していましたが、現地の子が「これやってみる？」と優しく声をかけてくれたおかげで、少しずつ緊張がほぐれていきました。材料を混ぜたり生地を丸めたりしながら、言葉だけでなくジェスチャーや表情でも気持ちが伝わることを実感しました。焼いている時間には、日本の学校生活や好きな食べ物について質問してくれ、とても嬉しかったです。(相川)



アンザックビスケットは第一次大戦中に兵士のお母さんや妻達が戦場へ向かう兵士に持たせたり、送ったりしたもの。



オーストラリアでツルを折れるようになった生徒もいます。折り紙という日本文化の重要性を感じました。



韮崎高校に来た、リチャード、ケイデン、リドリーにも会いました

ローラはいつも話しかけてくれました

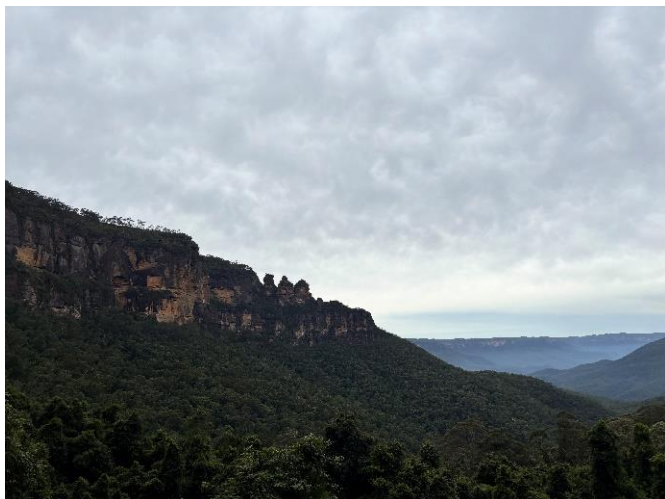
2026年3月17日 (火)

海外研修 8 日目

2時間バスに乗ってブルーマウンテンに行った。シーニック・レールウェイという赤い電車に乗って、アトラクションのように急降下しながらブルーマウンテンが見えるところへ移動した。ユーカリの木々によって少し青く見える景色はとても美しく、日本ではなかなか見られない風景だなと感じた。また、スリーシスターズは魔物から愛する3姉妹を守るために父親の祈祷師が彼女らを岩に変えたけどそのあと父親自身が元に戻れなくなって、姉妹も岩のまま現在に至るという伝説があり、この話を聞いて、より印象に残った。(岩下)



ものすごい角度のケーブルカーに乗りました



ブルーマウンテンという名前のとおり、ユーカリの葉で青く見えます。

コアラはお昼寝の時間で抱くことはできませんでした。寝ているコアラもとてもかわいいです。



2026年3月18日 (水)

海外研修 9 日 目

ブーメランづくり 9日目では美術の授業があった。この授業ではブーメランにアボリジニのペイントをし、それぞれ自分だけのオリジナルブーメランを作った。色は赤、白、黄、紺、緑、茶の6色があり、これらはそれぞれ自然の色を表すアースカラーである。(新海)



体育の授業に参加しました。木曜日の午後はスポーツアフタヌーンで、全校でスポーツを選択します。



さよならパーティー
修了証書を受け取り、ホストファミリーに感謝の気持ちを表します。



2026年3月19日 (木)

海外研修10日目

「まだ一緒に過ごしていたい」と多くの人を感じていた。期待と不安の中で始まった初日から、毎日会話を重ね、かけがえのない時間を過ごした。最初はうまく話せなかったが、ゆっくり言い直してくれたり、私の言葉を理解しようとしてくれた。ホストバディとは学校に通い、兄弟のように過ごした。長く感じていた日々も、次第にあっという間に過ぎていった。一緒に過ごした何気ない時間の一つ一つが、かけがえのない思い出として心に残っている。別れを惜しみながら「Thank you」と伝えてハグをし、「See you」と別れを告げた。この瞬間は今でも鮮明に心に残っている。(浅川)



最近の日本の若者は海外に出なくなると言われますが、オーストラリアの家庭に10日間お世話になると、自然と日本以外の国のことも考えるようになります。



2024年3月10日(火)～20(金)

海外研修1～11日まとめ

私は中学生の時に菫崎高校の海外研修のプログラムに魅力を感じ、進路を決定しました。今回その海外研修に参加することができて嬉しい気持ちでいっぱいですし、両親や先生方に感謝したいです。バディの子が9月に菫崎高校に来る際には私が受け入れをして日本の暮らしや文化について教えられるようにしたいのと、これから先もホストファミリーやクロナラ高校の友達とSNSを通じて連絡を取り合い、国際交流を深めていきたいです。

(宮沢)

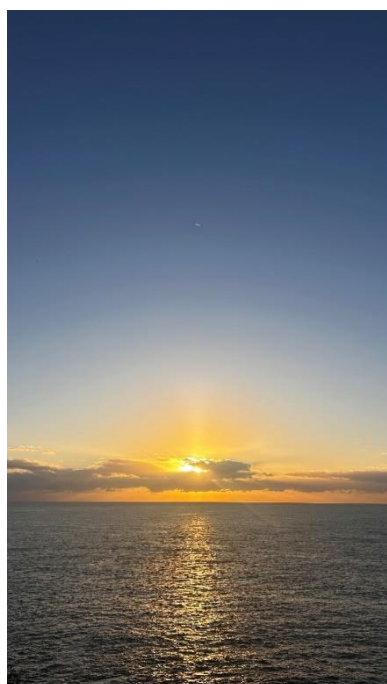
私は翻訳機能をほとんど使わなかった。知らない単語は、知っている単語を使って文法を捨てても説明するようにした。会話は長く遠回りになってしまったが、お互いに言いたいことが分かった時は本当にうれしかったから、遠回りする価値はあるだろう。そして大事なことは笑顔だ。笑っていたらいつの間にか楽しくなれる。その笑顔が伝染して、みんなが楽しくなった。言語を使わなくても、心から楽しむことができると思った。(橋本)



9月23日～30日クロナラの生徒の受け入れ先を募集します。次回のオーストラリアの研修は2年後、2026年3月です。受け入れをしてくれた1年生は2年生の3月に参加することができます。受け入れをしてくれた生徒は選考なく参加できます。



校庭で朝礼をします



この絵の後ろが日本語の授業の教室です。

